

あなたとJAをおすすめ情報誌

# なかしべつ

1999

5月  
No.293

中標津町農協青年部創立50周年を祝う



# 祝 中標津町農協青年部創立50周年記念式典

- 式次
1. 開会の辞
  2. 青年部部長の挨拶
  3. 青年部部長の報告
  4. 来賓祝電の披露
  5. 祝電披露
  6. 感謝状の贈呈
  7. 乾杯
  8. 祝宴
  9. 青年部の報告
  10. 万歳三呼
  11. 閉会の辞



開会宣言をする笠原氏



青年部綱領を朗読する福島氏



祝電を披露する山田氏



歴代青年部長の方々

## 記念式典

# 歴史を祝う



祝辞を述べる三友組合長



農協青年部創立五十周年記念式典が四月十七日、午後一時よりホテル秀月を会場に、来賓、関係機関の方々、青年部員など約二百二十人が出席し開催されました。

開催に先立ち、平成十年度青年部長・板橋氏より「半世紀にわたる青年部の歴史の重さを深く感じるとともに、式典を私達の代に行なうことができ部員一同、光栄に思っています」と挨拶。

続いて三友組合長、町・佐久間助役、観光協会長・松実氏、JA根室地区青協会長・田中氏、農協女性部・横田部長の方々より祝辞をいただいた後、観光協会、商工会青年部、農協女性部、農協青年部前事務局にそれぞれ感謝状と記念品が、平成十一年度青年部長・岡部氏より贈呈されました。

続いて、北根室地区農業改良普

青年部の思い出を語る三氏  
 鷺見氏(右)、白築氏(中)、長瀬氏(下)



受け付けの準備はOK!



## 農協青年部創立50周年

# 半世紀の



及センター所長・井芹氏の乾杯で祝宴に入り、その後、歴代青年部長の鷺見氏、白築氏、長瀬氏の三人の方より「青年部の思い出」を語っていただき、商工会青年部長・館下氏より万歳三唱で約二時間の式典を終了致しました。

# 管内のトップをきつて 中標津B&Wシヨウ開催。

中標津乳牛改良同志会主催の第三十九回中標津ブラック&ホワイトシヨウが四月二十五日、ホクレン根室地区家畜市場にて開催されました。

管内のトップをきつて開催されたシヨウとあって管内、外の酪農家など多数の見学者が詰めかけました。

当日は近年まれに見る好天に、気温も上がり外での開催となり、出品者、観客、審査員共に乳牛の美を競うには絶好の日となりました。また、デーリイプリンセスには、中本トモ牧場実習生の佐治弘美さんがシヨウに花を添えました。

審査員には、根室ホルスタイン改良協議会副会長の瀬下雅人氏（別海町酪農家）があたり、九部門、五十頭を的確に審査されました。

なお、町長杯（シニアチャンピオン）に佐々木昭雄氏出品のアースイースト イーグル ブローカー号、組合長杯（ジュニアチャンピオン）に久保剛氏出品のエクセルシア ダーミネイト号がそれぞれ栄誉に輝きました。

各都上位入賞牛は次の通りです。

久保 剛  
福嶋 信博  
佐々木昭雄  
弾正原 正  
弾正原 正

ジュニアチャンピオン エクセルシア ダーミネイト  
ジュニアリザーブチャンピオン ハッピーランド アンソニー ミッキー スギ  
シニアチャンピオン アースイースト イーグル ブローカー  
シニアリザーブチャンピオン サニーデール ジェッド マスター  
ベストアダーチャンピオン サニーデール ジェッド マスター

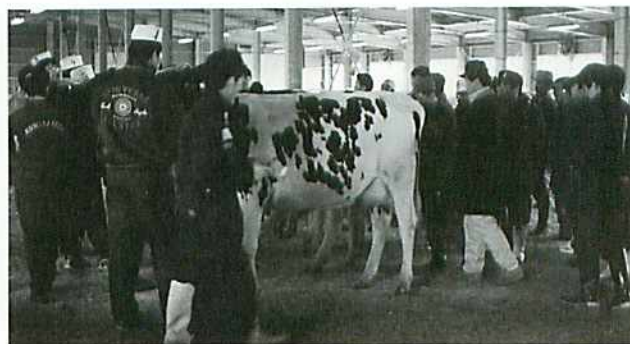
## 各部1等賞

第1部	ガラント チーフ ジュラー	佐藤 洋之
第2部	ハビイースト ミル ホワイティ ローザ	福村 稔
第3部	ハッピーランド アンソニー ミッキー スギ	福嶋 信博
第4部	エクセルシア シャネル	久保 剛
第5部	エクセルシア ダーミネイト	久保 剛
第6部	アースイースト イーグル サン	佐々木尚洋
第7部	アースイースト イーグル ブローカー	佐々木昭雄
第8部	サニーデール ジェッド マスター	弾正原 正
第9部	ハビイースト プレゼント セレナ	福村 稔



## 乳牛の見方、審査を学びました。

### 乳牛審査講習会



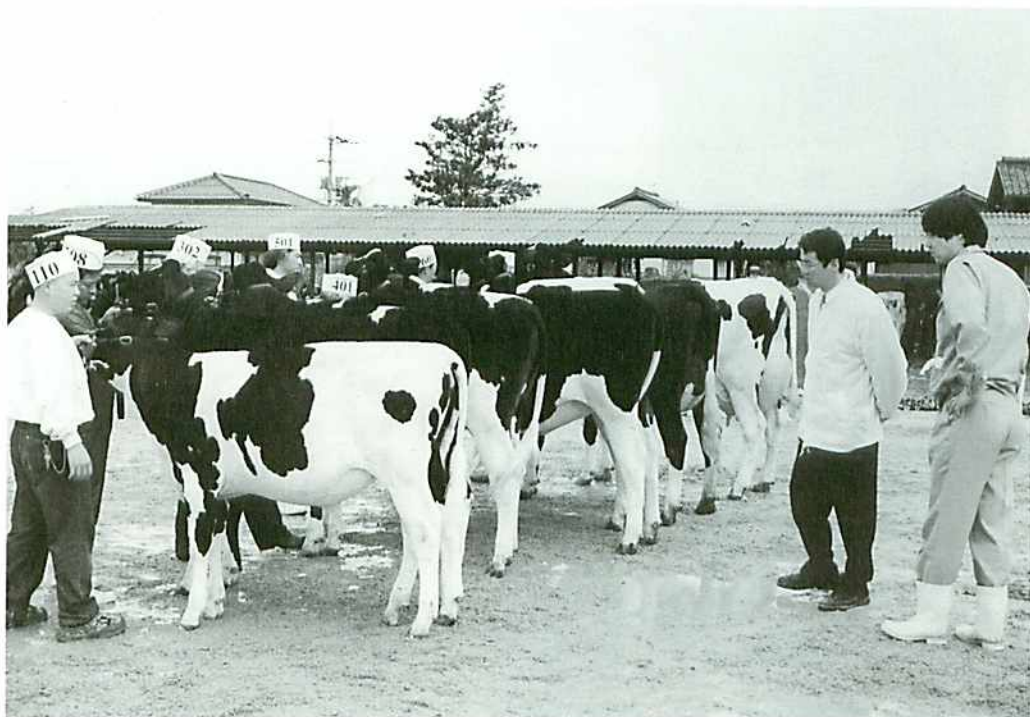
中標津乳牛改良同志会主催による乳牛審査講習会が、四月十九日ホクレン根室地区家畜市場にて会員、関係者など約五十人が参加し、乳牛の見方、審査について学びました。講師には、シヨウなどで活躍中の久保剛氏があたりました。

まず、未經産牛、経産牛各二頭でそれぞれ比較審査を行ない、それについての説明が行なわれ、質疑応答では、講師の秘密の飼い方などが話され、参加者にとっては参考になったと思われます。その後、未經産牛、経産牛各五頭ずつジャッジングが行なわれ、支部団体戦では一位に第二俣落支部が、個人戦では川村尊之さんがそれぞれ高得点で入賞されました。閉会后、焼肉を囲んで会員間の交流を行ない、春の一日を満喫したのではないのでしょうか。

# 主産地・中標津を上回る町をあげてのバックアップ。

府県消流地視察に参加して

横田千秋



四月九日～十二日までの日程で、鳥取県東伯町の酪農家、大山乳業、第四十回東伯町共進会を見学して参りました。

四月九日、空路にて中標津より米子へ。大山乳業職員・松井氏の出迎えを受け、東伯町へ。途中、真山牧場を見学。

十日、大山乳業を見学。組合員の手取り乳価を守るため(九十三円)、積極的な商品開発、そして販売を行なっているとの事です。

その後、共進会会場へ、あいにくの空もようの中での共進会でした。出品牛に関しては、未經産では上位数頭はすばらしいものを持っていましたが、若干オーバーコンディション気味のものも見受けられました。未經産牛では、舎飼いのためか、足腰の弱いもの、乳房のくずれたものも見られました。また、ショウリング

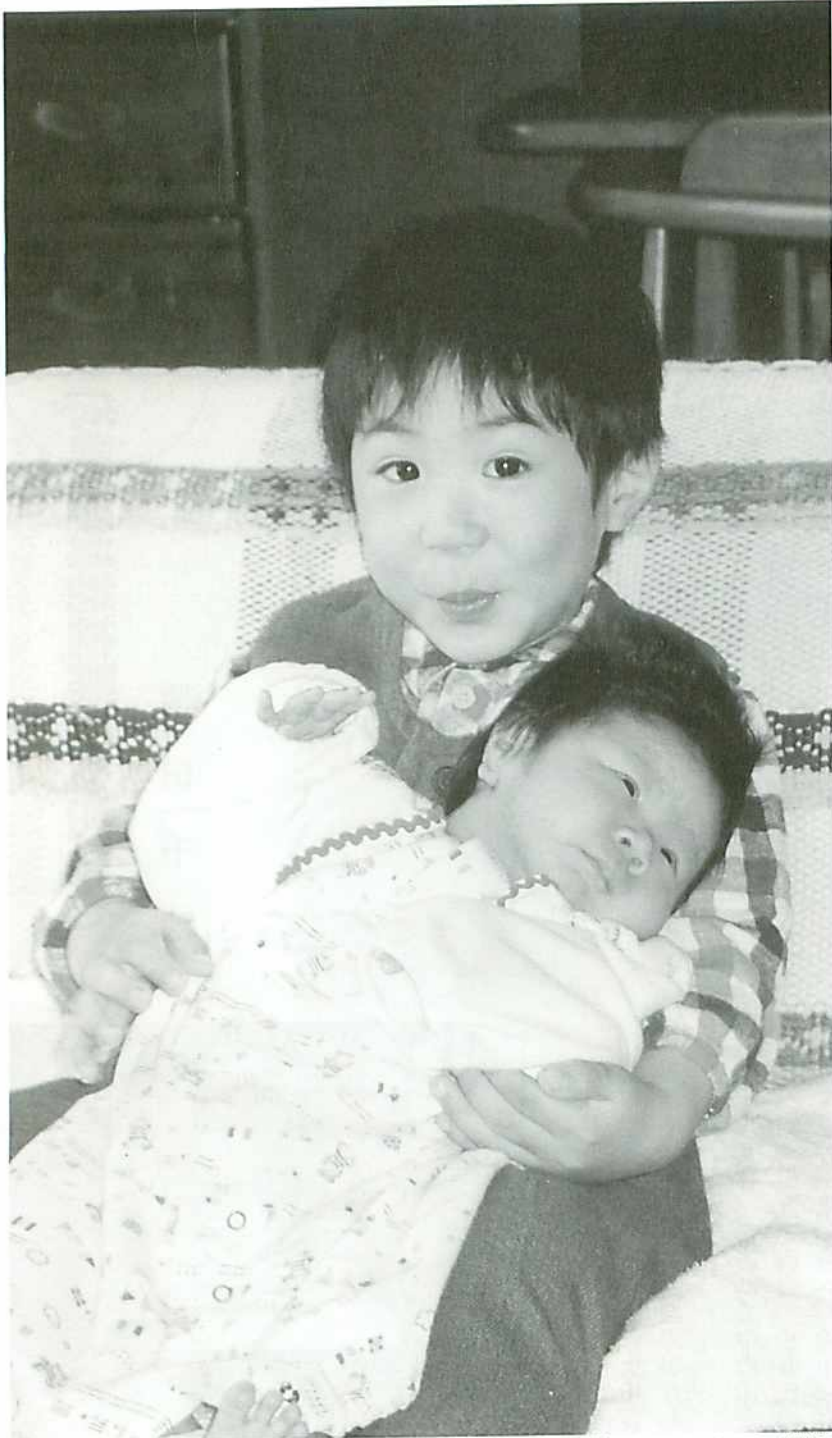
の囲りは花のプランターでぐるりと囲まれ、ショウの終了後一個千円で販売するとの事。また第一部は女性と子供が牛をリードするそうで、多数の参加が見られ、大変活気がありました。

十一日は影山、横山、三浦、三浦、川本の各牧場を見学。内容に関しては来月号の府県消流視察研修の高橋君の寄稿文におまかせしてありますので、省略させていただきます。東伯町有牛として弾正原、久保牧場から購買された牛も見せて頂いたのですが、飼養管理の面で、本牛の持ち味が十分に生かされていないように見受けられました。

今回の研修の中で感じた事は、東伯町共進会の事でした。町主催という事で町、大山乳業、各農協の強力なバックアップの中で行なわれ、また優良牛を町有牛として導入、町指定の精液(町が半額助成)など、その力の入り方は主産地・中標津のそれをはるかに上回るものがありました。しかし、そこには大山乳業―酪農というラインが町の重要な産業で、その中の牛を改良するという事に重きがおかれているという事で、改良同志会会員と員外に歴然とした数字の差があるそうです。

最後になりましたが、桜井団長、事務局・清原君、中司君、高橋君には研修中大変お世話になった事をこの場を借って御礼申し上げ報告を終わります。

# わが家の 人気者



妹をだっこしてちょっぴり緊張

依橋地区 森島靖雄・聖子さんご夫妻 長男 とおる 利くん(3歳)

今回ご紹介する元気っ子は、森島さん宅の利くん。ちょうどおひるね中だった利くんは、ねむいのを我慢して、起きて来てくれました。最初は、ちょっぴりご機嫌ななめだったけど、おばあちゃんにだっこしてもらっているうちにすっかり、いつものご機嫌な利くんに変身。「ボクの大好きな車、見せてあげる」とトラクターとロータリーのおもちゃを大事そうに見せてくれました。「ここにパパが乗ってるんだよ。音はプオ

ーン、プオーンってすごい音なんだよ」と楽しそうに話してくれました。お母さんの聖子さんも「利は車の車輪の動きとか、音をちゃんと聞いているのよ」と笑って話す。利くんは、「ママの車の音は『シユボボボ』、パパのバイクは『プロローン』だよ」と一生懸命話してくれました。利くんは、いつも寝る前に、パパにのりもの本を読んでもらっているんだって。そんなのりもの大好きな利くんの特技はおうた。おもちゃの

チャチャチャや、キンチョールのCMの歌を踊りつきで見せてくれました。踊りも歌もとっても上手で、とってもかわいい。将来はジャニーズ入りかな？そんな、ちゃめっ気たっぷりな利くんも先月生まれたばかりの妹、悠ちゃんがとってもかわいい様子。おにいちゃんぶりを発揮していました。温かな家族に生まれ、元気にたくましく大きくなあれ。

## 歌って踊れる元気っ子

# 酪農郷の更なる前進、実現のために

全道的に雪どけが遅く、春の農作業への支障が心配されます。

ようやく、武佐岳のすそ野が紫色に見えはじめ、春が少しづつ、実感出来る日々が訪れようとしています。これから、秋の収穫まで日々お天気に一喜一憂しながらの農家生活が始まります。

天気予報は当たらないものと思いつつも、やはり予報は気になるもので、晴れの子報は信じたいものですが、はずれやすく、雨の子報は否定したものです。当るものです。

NHKの夕方の天気予報に中標津地方が新たに加えられたので、昨年よりは的確な予報となつてほしいものです。

今年から商法に準じて農協の決算、監査期間、総会などの日程が求められます。

決算期間を七週間も置く必要があるとなり、本年の通常総会は役員選挙日程も織り込み、六月十日となります。従来は出来るだけ早い総会開催を目指して、四月下旬に総会を行なってきました。

農協総会が終わってから、イモの播種、牧草の追肥が本格的に始まるという農作業の暦でした。

六月上旬の総会では共進会、地域

今月のたより

## 組合長日誌

代表理事組合長  
三友 盛行

の行事などもあり、総会を大きな節目として長年、親しんできた日程の変更です。組合員の皆さんのご迷惑ならぬ様、配慮しながら日程を進めます。また事業年度が始まるから二カ月を経過してからの総会という事になります。

特に新規事業の中で総会前に着手しなければ効果の発揮できないものについては、地区別懇談会などによって説明、理解を求めてまいりますので、宜しくお願い致します。

家畜排せつ物管理利用法察、肥料取締法改正案、持続的農業促進法案の環境三法が、参議院を通過し、衆議院審議に移りました。

環境三法は、畜産、酪農に対して、堆肥舎などの整備助成が手厚くなる一方で、家畜ふん、尿の野積み、素堀り溜めを、五年間で解消することを目的としています。また、都道府県知事が改善命令を出すことが出来、罰則規程もあるなどの厳しさもあります。環境対策は当り前の時代になった、土づくりで農薬と化学肥料を減らすことは国民のニーズだという、農水省の認識もあります。

酪農專業地帯の管内では、経営の大小を問わず、五カ年の期間中に、野積み、素堀りの改善、解消をしなければなりません。農協としては、組合員、全戸のふん、尿処理の実態を調査、把握して、改善のための年次計画を樹立して、実行してまいり

ます。この事の実現のためには、根室管内の共通認識を課題として取り組むことが必要です。

法律で規制する以上は、生産現場の整備のため高率な助成事業が必要不可欠であり、この視点を行政、道国に求め、整備を進める体制を構築していきたいと思っています。

高率な助成事業によつても、整備後のランニングコストがかかるわけですから、牛乳生産コストの中に反映させることが必要となります。同時に生産者もふん、尿処理費用が生産費コストに織り込める様な体質強化も求められます。

また、ふん、尿処理施設と生産現場の景観整備、維持とのバランスもこの際、考えることも大切です。

現地に生活し、生産する組合員家族の快適性、牛乳を生産してくる、乳牛の快適性の向上を中心として、国民の理解を得ることの出来る、生産方式を確立し、国全体の農業支援を受けつつ、酪農郷の更なる前進、実現のため努力をしてまいります。



# 営農技術

## 育成牛管理のポイント

北根室地区農業改良普及センター

育成牛の飼養は先行投資でもあり、初産を分娩して初めて農家に利益をもたらします。早期分娩ができれば、その時点で先行投資としての費用が無くなることとなります。

図一の初産分娩月齢による乳量では、二十四カ月齢まで乳量は延びていきますが、それ以降の伸びは鈍ります。育成期間が長いからといって乳量には結びついていません。根室内の初産分娩月齢は現在二十八カ月となっております。

しかし、やみくもに授精時期を早め、早期分娩させれば良いと言うものではありません。むりやり授精時期を早めても、低い乳生産の初産牛になりかねません。

また、酪農経営で一番大きな損害は育成経費を回収できない初産分娩時の事故でもあります。

そこで、分娩後即戦力になるような初産牛を作るために、育成の管理を見直しましょう。

### 一、六カ月齢までに体高を伸ばす

体高は生後六カ月間に成熟期の七五割まで成長します。育成初期に体高を効果的に増加させないと、後で取り返しが困難となります。六カ月齢での体高は、百四〇百七センチを目標とします。

体高の成長にはエネルギーと同時に、タンパク質が特に重要です。二カ月〜六カ月齢での飼養標準はTD

Nで六九〜七一割、CPは一六割が目安となります。また、子牛の発育期には非分解性のタンパク質も必要となります。

### 二、六〜十二カ月齢はTDNよりCPを充足させる

種付け前の過剰なエネルギー摂取は乳腺組織に脂肪が形成され、将来の産乳量の低下に繋がります。六〜十二カ月齢での飼養標準はTDNで六六〜六八割、CPは一五割が目安となります。

### 三、授精開始の時期

生涯の乳生産を考えると、初回授精時にある程度の骨格、フレームサイズができていることが重要であります。一般的には、授精適期は十三〜十六カ月齢で体重約三百五十キロ、体高が百二十五センチ以上を目標とします。

### 四、発情の発見

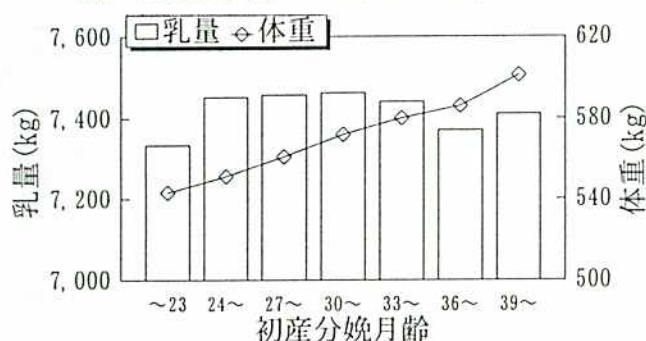
高い受胎率を得るためには適期に授精する必要があります。発情時に見られる行動的兆候としては、乗駕を許容して立っていること、また身体的兆候としては、外陰部の充血腫脹、外陰部から水様で透明な粘液が出るなどがあります。

また、発情発見率を高めるために、授精適期の牛群を飼い主の目の行き届くところで飼うことも大切です。

### 五、飼養環境の整備

育成牛の増体を遅らせる環境要因を改善するためには、  
・十分な換気が必要  
・冬の風に直接さらさせないこと  
・牛体が濡れたり糞がつかないように、ストールを乾燥させること  
・ぬかるみを歩かせないこと  
・月齢と体格の差の大きなものを一緒にグループに入れないこと  
などの注意が必要です。

図1 初産分娩月齢による乳量、体重(全道)



北海道乳牛検定協会 平成9年度個体の305日間成績より



# 早春にあさがおが咲いたよ。

寒さが少しずつ緩みはじめた四月上旬、庭にはまだ、まだらに残雪がのこった頃。第二俣落地区・横田好一さん宅で撮影されたこの一枚の写真。季節はずれのあさがおの花がたくさん咲きました。

もちろん、これは室内で育ったあさがおですが、横田さんのお孫さんの晋一くんが学校での観察用に育て

ていたもの。暖かい、陽のあたる窓辺で、ニョキニョキとつるを伸ばして、鮮やかに咲いています。横田さんの妻・純子さんも「あさがおと残雪の景色に、思わずカメラを向けました」と話す。夏まで咲き続けるのでしようか。



みなさんからのおもしろい写真や投稿などお寄せ下さい。  
お待ちしております。JAなかしべつ組織広報係まで

## 乳製品加工が 身近なものになるように。

女性部ストリングチーズ作り



均等な大きさのカッティングがカギ

四月二十六日、雪印乳業調理室において、ストリングチーズ作りが行なわれ、二十二人が参加して行なわれました。

人気の高いこの教室は、横田純子さんを講師に招き、「家にある道具でできちゃうストリングチーズ作り」をテーマに行なわれました。参加者は、衛生面に十分に注意を払いながら、自家生産した生乳がストリングチーズに変わっていく様子に驚きながらも、真剣に取り組んでいました。出来ばえはなかなか!?でした。チーズ作り合間には、おしゃべりにも花が咲き、部員間の親睦を深めました。今後、乳製品加工が身近なものになるように活動をしていきましょう。

# 第51回青年部通常総会

## 自覚と誇りをもち積極的に 青年部活動に参加してほしい。



全員で青年部綱領を朗唱

第五十一回農協青年部通常総会が四月十三日、農協大会議室で開催されました。

午前十時、中標津支部の花川昌典氏より開会宣言が行なわれ、続いて全員で青年部綱領を朗唱後、板橋匠部長から「青年部創立五十年の節目を迎え、創立より代々引き継がれてきた農協青年部の精神を、今一度再確認しなければならぬ。これから

青年部として何をしなければならぬのか、何が出来ぬのかを協議してもらいたい」と挨拶。

続いて三友組合長、町・武田経済部長、根室地区農青協・山田昇副会長、農協女性部・横田純子部長の来賓の方々から祝辞が述べられました。

部員総数五十九人、本人出席三十八人、委任状七人、計四十五人のもと、武佐支部の佐藤幸一氏を議長に選出し、平成十年度事業報告並びに収支決算報告、平成十一年度事業計画案など原案通り承認されました。

岡部新部長より「部員減少による活動の減退を防ぐためにも、支部活動・委員会活動の活性化を図りたい。地域の基幹産業に携わる一青年としての自覚と誇りを持ち、本部事業を理解した上で積極的に青年部活動に参加、協力してほしい」と力強く訴えました。

### 平成十一年度役員

- 部長 岡部 達也
- 副部長 佐々木大輔
- 書記 鷺見 健
- 監事 清原 孝志
- 理事 飯島 哲夫
- 花川 昌典
- 三輪 哲郎
- 福嶋 寿顕
- 藤原 智樹
- 上村 満彦



質疑をずる福嶋氏



# 牛も人も必死の除角、 ケガもなく無事終わりました。

●協和・豊岡地区 ●俣落地区



中標津支部

## 同じ目的意識をもつて、 青年部の連帯強化と活性化を。



中標津町農協青年部

部長 岡部 達也

本年青年部創部から五十一年となります。半世紀の歴史を積み重ねた青年部組織も、年々部員の減少が進み現在五十三人の部員で新たな半世紀に足を踏み入れることとなりました。

農業を取り巻く情勢は刻々と変化

しており、我々青年部員も時代に遅れることなく進んで行かなければなりません。

今年度、我々青年部は青年部らしい事とは何かを意識して活動して行きたいと思えます。青年部に入っているからこそ出来る事、また、我々の年代だからこそ出来る事を考えて行きたいと思えます。青年部の事業の中には、それぞれ先輩から受けついで特色あるものが数多くあります。今一度、それぞれ事業の目的を明ら

中標津支部の協和地区、豊岡地区の除角が四月二十六日に行なわれしました。当日は天候にも恵まれ、無事二百二十頭程の除角を終えることが出来ました。

豊岡地区はスタート時間が遅かったにもかかわらず、けが「人」「牛」も出ず、日没までには終了し、ホッとしました。

また、俣落地区も四月二十八日、前日までの暖かさとうって変わって雪の降る中、春の除角を行ないました。

全部で二百頭ほどで、一戸あたり九頭前後、例年より少しくなめに感じました。寒さで体がこわばるなかけが人もなく、無事に終了しました。



俣落支部

かにして行きたいと思えます。部員全員が同じ目的を持つことにより、部員相互の連帯強化につながり、青年部も活性化されると思えます。

減少する部員、参加者の少ない事業など、問題が山積していますが、各々が青年部組織の重要性を考え、新たな青年部を築いてまいります。

# 経営の安定を目指していろいろ。

## 中標津町農協畑作対策協議会第2回定期総会

平成十一年四月二十三日、中標津町農協畑作対策協議会の第二回定期総会が、二十一人の出席により、農協大会議室で開催されました。

土井上会長の挨拶の後、三友組合長、中標津町農林課西村係長、井芹普及センター所長各々に祝辞を頂き、議長に西中の小林茂氏を選出し、議案審議に入りました。

事業計画では、畑作を取りまく課題解決として、中標津町原種農場の今後について、交換耕作について、生食・種子馬鈴しょ・大根市場調査

及び販売促進活動、鹿対策、労働力確保対策、農政学習会などを原案通り可決しました。また、会費の徴収方法については、会員割（二戸・一万円）生産物割（〇・〇三割）に決定しました。

※役員構成は次の通りです。

- 農協役員 三人
- 馬鈴しょ振興会四人（内、馬鈴しょ振興会三人、生食加工部会一人）
- てん菜振興会 二人
- グリーンクラブ二人
- 畑作部会 二人（青年組織）

# 中斜里でん粉工場・種子馬鈴しょ選別施設を研修。

## 中標津町農協馬鈴しょ振興対策協議会

馬鈴しょ振興会委員研修が四月九日、十人の参加により行なわれました。

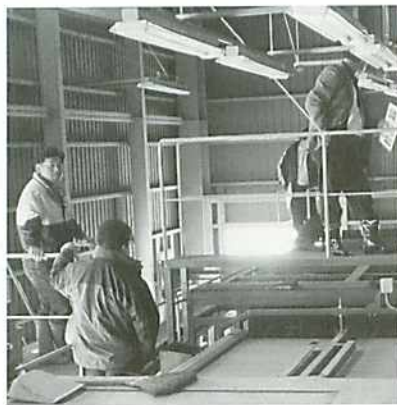
最初の研修地、中斜里でん粉工場を訪れ、三田工場長から工場概要の説明を受け、質疑に入り、事業で更新された機械で回収率は向上するか（これ以上の回収率向上は無理との事です）、粉フキが多く作付する様になり、工場の操業率はどうなっているか（高でん粉質の馬鈴しょが多くなってきたので、一日の処理量を八〇割位まで落として操業を行なっている）などの意見交換が行なわれ

ました。その後、工場内を見学する事となり、受入施設、受入の電算処理室などを見学し、コンピュータ駆使し組合員はカードを差し込めば受入、出荷量、でん粉価が伝票に出る仕組みとなっています。受入を後にして、ライマン測定室に移動してみると、受入組合員は誰か見えない場所があり、ライマンサンプル採取に個々の差は出ないとの事でした。

昼食の後、東藻琴村農協を訪問し、たいしん営農集団（十一戸）が運営している、種子馬鈴しょ選別施設を



第2回 中標津町農協畑作対策協議会 定期総会



研修、ここでは、東藻琴村農協管内五百五十畝の種子を供給していますが、導入してから十三年が経過した機械の更新が課題となっている様です。短い時間でしたが、有意義な研修となりました。

※五役は次の通りです。

- 会長 土井上信一（農協役員）
- 副会長 安達 武（馬鈴しょ振興会）
- 〃 松田 征二（てん菜振興会）
- 監事 武田 健治（生食加工部会）
- 〃 西崎 敬造（グリーンクラブ）

最後に土井上会長が挨拶で、各組織が結集し、課題解決に向け、安定経営を目指し取り組んでいこうと閉会の言葉として終了しました。

# 春期だいこん栽培技術講習会

だいこんの播種作業を間近に迎え、栽培技術講習会が四月十四日開催されました。始めに大阪中央青果・法心部長から昨年出荷しただいこんの評価、野菜市況、新産地「なかしべつ」への期待、「家で食べるだいこんは作れるが、お金になるだいこんは難しい」と言った野菜生産の教訓となるお話を受けました。

次に、グリーンパートナー高田社長より、昨年の反省と今年の生産体系について説明を受け、二年目を迎えただいこん事業を成功させるべく講習会を終えました。

# 一年を通じて多彩な活動を計画、 わくわくする活動をいっぱいしよう！

## 第10回Jrホルスタインクラブ定期総会

第十回、中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会及び第十四回スプリングスクールが四月三日、農協大会議室でジュニア会員十六人、父母七人及び関係機関の出席により開催されました。

総会に先立ち、新年度から新しくジュニア会員の仲間入りする一人に、新入会員認定証の授与式が行なわれ、新しい仲間と共に出席者全員による誓いの言葉が朗唱されました。続いて、広瀬運営委員長からジュニアクラブの活動を振り返りあいさ

活動は、いも植え体験五月下旬、牧場視察六月、管内Jr、サマースクール八月下旬、全道酪農教室参加九月、秋の収穫祭、ウインタースクールなど多彩な事業が計画されました。総会終了後は、親睦親子ボーリング大会が行なわれ、楽しいひとときを過ごしました。なお、平成十一年度役員については、継続、各リーダーについては次の通りに決定しました。

平成十一年度  
リーダー 船橋裕太くん  
サブリーダー 小沼 大くん  
地区リーダー

筒井豊彦くん、保科 匡くん  
佐藤千品さん、金子美有紀さん

# 3種類のソフトクリームと、 バラエティな乳製品をお楽しみください。

## 「ミルクの里」(JA中標津桜ヶ丘スタンド横)

五月一日、農協桜ヶ丘給油所横に「ミルクの里」がオープンしました。昨年は八月、九月の二カ月営業でしたが、今年は五月より九月中旬まで四カ月半の営業を予定しています。ソフトクリームの種類も増え、ミルク、コーヒー、ミルクとコーヒーのミックスの三種類となり、また、ソフトクリームのコーンも型を新しくし、より一層おいしいソフトクリームが楽しめます。

また、五月一日から五日まで中標津町農協給油所で給油されたお客様へ、ソフトクリーム、アイスクリーム無料券を配付する「ミルクの里」オープンキャンペーンが行なわれました。

今シーズンも地場産の乳製品などを多く取り揃えておりますので是非ご来店下さい。  
※六月上旬にはイベントも予定しております。



# 中標津町農村地域 パークゴルフクラブが結成

この会は、パークゴルフを通じて会員相互の技術の向上と親睦を深めると共に健康な心身の向上に努めて、地域社会の発展に寄与することを目的に結成されました。

初代会長に藤井弘美氏が就任し、会員総数四十一人、毎週月曜日、午前九時から正午まで町パークゴルフ場で例会が行なわれます。



## JA青年部に 入部しませんか!

さまざまな活動を行なっています。

- 部員相互の連帯強化
- 学習研究活動の強化
- 農協機能・農政活動
- 消費拡大事業の推進強化
- 関連団体事業への参加
- 委員会活動
- ・ 消費拡大委員会
- ・ 調査、広報委員会
- ・ レクリエーション委員会

### 連絡先

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 当幌支部             | 遠田 勝2-9701 |
| 中標津支部            | 花川昌典2-9764 |
| 俵橋支部             | 福嶋寿顕3-3874 |
| 武佐支部             | 藤原智樹4-2224 |
| 開陽支部             | 三輪哲郎4-2278 |
| 俣落支部             | 上村満彦3-7228 |
| JA中標津青年部部长       | 岡部達也       |
| 事務局 JA中標津経営企画課組織 |            |
- 広報係 長内2-3275

共生の時代へ！ 家族を愛するあなたを応援します

すてきな提案!  
心温まる出会い!

家庭  
雑誌

# 家の光

おかげさまで  
創刊75年

ことしのニューラインナップ  
お知らせ!

人気作家 わくわく新連載小説!

**赤川 次郎** 「ひとり暮らし」

ユーモア、ミステリー、サスペンス、恋愛小説と、  
当代随一の人気作家が送る書き下ろし小説。

**読者が海外取材!**

ますます充実、読者参加企画。『家の光』が創刊75周年を  
記念して、愛読者の記者を募集。希望する国へ出かけて海  
外取材を! (応募要領は6、7月号をごらんください)

新連載企画

探訪 ふるさとの味

マネー110番

悪徳商法や税金、ローン、契約、  
保証人などをテーマにマンガで  
わかりやすく解説。

健康シグナル

不調のシグナルを知って  
予防を。

7月号別冊付録

シンプルがおいしい

**お菓子レッスン**

親子で楽しめる手作りのヘルシーお菓子集

9月号別冊付録

**健康がいちばん!からだの本**

心とからだリラックス。健やかボディ実践テキスト

お申込みはJAへ 定価(税込) 7・9月号880円 普通月号600円

## 第一回理事会の経過

開催日時 平成十一年四月十六日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

一、第五十二回通常総会の提出議案について

二、ビート産業将来ビジョン実現推進事業に係る固定資産の取得について  
〈協議事項〉

一、地区別懇談会の議題と日程について



## 4月の組合日誌

- 2日 農協酪対役員会
- 3日 Jrホルスタインクラブ  
第10回定期総会  
青年部50周年記念実行委員会
- 6日 馬鈴しょ耕作者全体会議  
酪対消費拡大委員会
- 9日 女性部第1回支部長会議  
青年部役員会
- 12日 青年部50周年記念実行委員会
- 13日 農協青年部通常総会  
JA斜里再編会議
- 14日 第1回熟年会役員会  
大阪中央青果講演会
- 15日 第1回理事会  
乳牛改良同志会役員会
- 16日 酪対環境整備委員会
- 17日 農協青年部創立50周年記念式典  
畜産環境保全打ち合わせ
- 18日 畑作対策協議会役員会
- 20日 決算監査～24日  
和牛研究会
- 21日 共進会打ち合わせ会議
- 22日 生食加工馬鈴しょ部会総会
- 23日 畑作対策協議会総会
- 26日 でん粉工場再編検討会  
JA中標津後継者役員会
- 27日 女性部青葉会和紙工芸教室
- 30日 青年部合同委員会

共計でん粉  
3月末  
販売状況

平成十年産共計でん粉の販売状況は、三月末仮配分累計一袋当り五百二円（前年同月期六百九十一円）と、前年より少ない配分となっております。

産地倉渡し、二千三百七十五円→三千二百二十五円（前年二千二百五十円）→三千二百二十五円（東京倉渡し、二千五百七十五円→二千四百五十円（前年二千四百五十円）→三千四百五十円）輸入化工でん粉、千六百二十五円→千八百七十五円。

なお、馬鈴しょと競合するコーンスターチは、千七百五十円（前年千九百円）と、とうもろこしの増収予測を受けて軟調に推移しています。

## 3カ月予報

五月から七月までの概要

三カ月平均気温は、平年並の可能性がもつとも大きく、その確率は五〇割です。

可能性の大きな天候見通し

五月 高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わりますが、低気圧の通過後は寒気が流れ込みやすく、気温の低い日が多いでしょう。

六月 前半を中心に、オホーツク海高気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、天気がぐずぐずし低温の続く時期がありますが、気温は平年並の範囲に入る見込みです。

七月 天気は数日周期で変わりますが、平年同様一時オホーツク海高気圧の影響を受ける時期があるでしょう。気温の変動が大きい見込みです。

三カ月間の降水量は平年並の可能性が大きいでしょう。

### 要素別予報 オホーツク海側

要素	5月	6月	7月
気温	低い	平年並	平年並
降水量	平年並	平年並	平年並

# JA共済からの お知らせ

自動車共済、長期共済が次のとおり  
改訂されました。



## ●自動車共済

1. 運転者年齢30歳未満不担保特約の新設  
年齢別危険格差に応じて、契約者間の掛金負担の公平化を図り、契約者の選択の幅を広げるため、運転者年齢30歳未満不担保特約を新設する。
2. 対物賠償共済金額の最高限度を無制限とする改訂  
自動車による列車事故など高額賠償事故にも金額対応できるようにするため、対物賠償共済金額に無制限のものを新設する。
3. 車両入替適用車種の範囲拡大および車両入替条項自動適用における車両所有者の範囲拡大  
利用者の利便性向上に資するため、車両入替条項について拡大を行なう。
4. 臓器移植法の制定にともなう自損事故条項および搭乗者傷害特約の条文整備  
臓器移植法の制定にともない、自損事故条項および搭乗者傷害特約において、臓器提供者の脳死判定後の身体への処置期間を治療日数に算入する旨約款上明記する。

## ●長期共済

1. ライフサイクルに合わせた保障「<sup>ていげん</sup>逓減定期特約」を新設  
ライフサイクルに合わせ、「必要な年代に、必要な保障」を提供するため、生命総合共済に「逓減定期特約」を新設しました。従来の定期特約に比べ、お安い掛金でご加入いただけます。  
さらに、高齢期の保障を充実するため、掛金の払込終了後も特約金額の20%を10年間保障する〔継続保障型〕もご用意しました。
2. 安心を継続「災害給付特約」  
万一の災害による死亡・後遺障害を保障する「災害給付特約」が、主契約の掛金払込終了後も主契約の金額まで減額されず、そのまま継続することになりました。
3. 保障が充実「重度障害年金特約」  
被共済者様が病気やケガで障害が残った場合の生活をサポートする「重度障害年金特約」の保障範囲を拡大しました。また、年金を10回受け取ることができる〔確定型〕を新設しました。この確定型は、ご加入時にお受取額が明確となるため、生活設計に合わせる事が可能となります。
4. さらに安心を拡大「入院特約」  
手術を受けられた場合のご負担を、少しでも緩和できるよう手術共済金の保障範囲を拡大しました。